



高知城

宇和島城

伊予松山城

備中松山城

丸亀城

姫路城



環瀬戸内海地域の 現存天守6城を巡る

旅

日本の中で江戸時代までに建造された城のうち、天守が現存しているのはわずか12城。そのうち「環瀬戸内海地域」には、なんと6城が現存しています！
そのほかにも、現代において復元されたながらも築城の時代を偲ばせる名城や史跡がたくさんあります。風光明媚な瀬戸内海を渡って、現存天守6城全てを巡り、約400年前の築城時代に思いを馳せてみては？

モデルコース①

- 1日目** 中国自動車道「中国池田IC」=(中国自動車道→播但連絡道路「花田IC」)=
▲**姫路城**=(播但連絡道路→瀬戸中央自動車道→高松自動車道「坂出IC」)=
▲**丸亀城**=(高松自動車道→高知自動車道「高知IC」)=高知市泊
- 2日目** 宿泊地=▲**高知城**=(高知自動車道→徳島自動車道「徳島IC」)=**徳島城跡**(徳島城博物館)=(徳島自動車道→神戸淡路鳴門自動車道「洲本IC」)=
洲本城跡=(神戸淡路鳴門自動車道→中国自動車道)=[中国池田IC]

モデルコース②

- 1日目** 中国自動車道「中国池田IC」=(中国自動車道→岡山自動車道「賀陽IC」)=
▲**備中松山城**=(岡山自動車道→山陽自動車道「福山東IC」)=**福山城**=(西瀬戸自動車道「西瀬戸尾道IC」)→「今治北IC」)=**今治城**=松山市泊
- 2日目** 宿泊地=▲**伊予松山城**=(松山自動車道「松山IC」)→宇和島道路「宇和島朝日IC」)=
▲**宇和島城**=(宇和島道路→松山自動車道「大洲北只IC」)=
大洲城=(松山自動車道「大洲IC」→瀬戸中央自動車道→中国自動車道)=[中国池田IC]

※道路事情等により、1泊2日ではモデルコースのとおり巡れない場合がございます



【環瀬戸内海地域交流促進協議会】

四国経済連合会／中国経済連合会／兵庫県／岡山県／広島県／徳島県／香川県／愛媛県／高知県
国土交通省 四国運輸局／国土交通省 中国地方整備局／国土交通省 四国地方整備局
本州四国連絡高速道路(株) ⇒詳細は <http://www.kanseto.jp/>



◆お問い合わせ先

◇事務局(協議会に関すること)

国土交通省 四国地方整備局 道路計画課 ☎087-811-8322／本州四国連絡高速道路株式会社 ☎078-291-1000

◇「環瀬戸内海の歴史や文化のネットワーク化」担当

(本チラシに関すること)高知県土木部道路課 ☎088-823-9834 (※各城の詳細については裏面の「問合せ先」へご連絡をお願いします。)



- 開城時間：午前9時～午後5時(閉門は午後4時)
※4/27～8/31は午前9時～午後6時(閉門は午後5時)
- 休城日：12月29日、30日
- 料金：大人(18歳～) 1,000円
小人(小、中、高) 300円
- HP：<https://www.himejicastle.jp/>
- 問合せ先：079-285-1146(姫路城管理事務所)
- 駐車場：大手門駐車場(有料)ほか
- アクセス：播但連絡道路花田ICから約15分
姫路バイパス中地ランプから約15分

奈良の法隆寺とともに日本初の世界遺産に登録された姫路城。白漆喰総塗籠造の白壁から「白鷺城」の名で親しまれ、シラサギが羽を上げたような優雅な姿で街を見下ろしている。

現在の姫路城は、慶長14(1609)年に建築されたものであるが、平成21年度から26年度まで、姫路城大天守保存修理事業(平成の修理)にて改修が行われ、建築時の美しい姿が再現されている。

- 立ち寄りスポット：姫路城西御屋敷跡庭園好古園・兵庫県立歴史博物館



- 観覧時間：午前9時～午後4時30分(入城は午後4時まで)
- 休城日：無休
- 料金：大人200円、小人(小中学生)100円
- 問合せ先：0877-22-0331(丸亀市観光協会)
- HP：<https://www.marugame-castle.jp/>
- 駐車場：丸亀城内資料館南側(無料)ほか
- アクセス：高松自動車道 善通寺IC・坂出ICから約20分

高さ日本一の石垣に鎮座して約400年の歴史を刻む丸亀城。内堀から天守にかけて4層に積み重ねられた石垣は、約60メートルと日本一の高さを誇り、「扇の勾配」と呼ばれる特徴的で見事な曲線を描く。

近世城郭は豊臣秀吉政権下に讃岐15万石を与えられた生駒親正が慶長2(1597)年、高松城の支城として築城を開始した。暗色の石垣と鮮やかなコントラストを奏する白亜の天守は、全国でも珍しい木造天守である。

- 立ち寄りスポット：丸亀市立資料館・中津万象園



- 開城時間：3月～10月 午前9時～午後5時
11月～2月 午前9時～午後4時
- 休城日：無休
- 料金：大人200円、中学生以下無料
- 問合せ先：0895-49-7033(宇和島市文化・スポーツ課)
- HP：<http://www.city.uwajima.ehime.jp/site/uwajima-jo/ujojushiro.html>
- 駐車場：城山下駐車場(有料)
- アクセス：一般国道56号宇和島道路 宇和島朝日ICから車で約4分

宇和島湾に面した場所に不等辺五角形の縄張りて築かれた宇和島城は、当時築城の名手と名高かった藤堂高虎により建城された堅城であった。

巨大な石垣を横目に急な石段を登って行くと、山頂には当時のままの三層三階の天守が鎮座する。天守内部は木の味わいが残り、宇和島湾と宇和島の町並みを一望できる。

- 立ち寄りスポット：伊達博物館・天赦園・和霊神社



環瀬戸内海地域の現存天守6城



- 開城時間：4月～9月 午前9時～午後5時30分
10月～3月 午前9時～午後4時30分
- 休城日：12月29日～1月3日
- 料金：大人500円、小人(小中学生)250円
- HP：<http://takahashikanko.or.jp/>
- 駐車場：城見橋駐車場(無料)
繁忙期には、駐車場から有料のシャトルバス運行
- 問合せ先：0866-22-1487(管理事務所)
- アクセス：岡山自動車道 賀陽ICから車で20分

標高430mの臥牛山頂上付近に建つ天守は国の重要文化財で、現存天守を持つ山城としては唯一であり、「日本三大山城」にも数えられる。鎌倉時代、秋庭重信が大松山に城を築いたのを起源とし、天和3(1683)年に水谷勝宗によって3年がかりで修築され、今の天守の姿となった。

白い漆喰塗の壁と黒い腰板のコントラストが空の青に映える美しい天守。大手門櫓跡付近は、高さ10m以上の巨大な岩壁がそびえ、秋には付近の木々が紅葉し朱色に覆われる景色は圧巻。また雲海に浮かぶ幻想的な姿から天空の山城と呼ばれている。

- 立ち寄りスポット：頼久寺庭園・武家屋敷(旧折井家・旧植原家)・郷土資料館



- 開城時間：2月～7月 午前9時～午後5時
8月 午前9時～午後5時30分
9月～11月 午前9時～午後5時
12月～1月 午前9時～午後4時30分
- 休城日：12月第3水曜日
- 料金：大人520円、小人(小学生)160円
- 問合せ先：089-921-4873(松山城総合事務所)
- HP：<http://www.matsuyamajo.jp/>
- 駐車場：松山城駐車場(有料)
- アクセス：松山自動車道 松山ICから車で約20分

日本で最後の完全な城郭建築(桃山文化様式)として、21棟の建造物が国の重要文化財に指定。大天守、小天守、隅櫓を互いに結び、武備に徹した天守建造物群は「日本三大連立式平山城」に数えられる。

司馬遼太郎著「坂の上の雲」の序文で文学都市松山の象徴として描かれるなど、松山市のシンボルとして親しまれている。

- 立ち寄りスポット：二之丸史跡庭園・道後温泉本館・萬翠荘



- 開城時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休城日：12月26日～1月1日
- 料金：大人(18歳以上)420円、18歳未満無料
- 問合せ先：088-824-5701(高知城管理事務所)
- HP：<http://kochipark.jp/kochijyo/>
- 駐車場：65台(有料)
- アクセス：高知ICより車で約15分

高知城は、全国に12か所しかない江戸時代の木造天守が残る「現存12天守」の一つで、日本で唯一、本丸の建造物群が全て現存する城である。慶長6(1601)年、土佐へ入国した山内一豊が築城をはじめ、10年かけて全城郭を完成させた。

しかし、享保12(1727)年の大火でほとんどの建造物を焼失したため、現在の天守は享保14(1729)年より25年かけて再建されたものである。天守最上階からは、高知市の町並みを一望でき、必見。

- 立ち寄りスポット：山内神社・旧山内家下屋敷長屋展示館 高知県立高知城歴史博物館



ここにも寄りたい! 道中のお城



- 徳島城博物館
- 開城時間：午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休城日：月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日(日曜・祝日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)
- 料金：一般300円、高校生・大学生200円
中学生以下無料
- 問合せ先：088-656-2525(徳島城博物館)
- 駐車場：徳島中央公園東側駐車場(有料)
- アクセス：徳島自動車道 徳島ICより車で約10分

- HP：<https://www.city.tokushima.tokushima.jp/johaku/index.html>

徳島市の中央にそびえる城山は、形がイノシシに似ることから「猪の山」といわれ、また、その地勢が中国の渭水の風景に似ているので「渭津」とも名付けられた。

この城は細川頼之が築城したが、その後、三好・長宗我部を経て天正13(1585)年に蜂須賀家政が入り、これを修築し阿波の本拠となった。南東に、復元された鷹の門や木橋に架け替えられた数寄屋橋、徳島城博物館などから、昔日の面影をしのぶことができる。



※各施設については問合せ先へご連絡をお願いします。

※開城時間等は予告なく変更となることがあります。あらかじめご了承ください。



- 開城時間：9月～3月 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
4月～8月 午前9時～午後6時30分(入館は午後6時まで)
- 休城日：月曜日(休日の場合は翌日)、年末12/28～12/31
- 料金：大人200円(高校生以下無料)※特別展期間は別途定めます
- 問合せ先：084-922-2117(福山城博物館)
- 駐車場：ふくやま美術館、ふくやま文学館駐車場(有料)
- アクセス：山陽自動車道 福山西にもしくは福山東ICから車で約20分

- HP：<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyamajo/>

徳川幕府から西国鎮護の拠点として、譜代大名水野勝成が元和5(1619)年備後10万石の領主として入封し築いた城。

明治6(1873)年に廃城となり、多くの城の建物が取り壊され、更に昭和20(1945)年8月の空襲により天守閣と御湯殿も焼失。その後昭和41(1966)年の秋に市制施行50周年事業として天守閣と御湯殿、月見櫓が復元され、天守閣は福山市の歴史を伝える博物館として藩主の書画・甲冑などを展示。

